



いいことがはじまる予感。

Brangista FINANCIAL REPORT

株式会社ブランジスタ 第19期 第2四半期 事業報告書
2018年10月1日 - 2019年3月31日

電子雑誌・ソリューション、 更なる業容拡大へ。

Brangista FINANCIAL REPORT

株式会社ブランジスタ 第19期 第2四半期 事業報告書
2018年10月1日 - 2019年3月31日

株主の皆様には、平素より変わらぬご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

電子雑誌においては、引き続き地方自治体とのタイアップを実施しており、観光PRだけでなくふるさと納税、移住や定住といった分野にまで当社電子雑誌をご活用いただいております。また、紙で出版されていた雑誌を電子雑誌にリニューアルして発行する新たな取り組みが実現し、地方自治体や企業において当社電子雑誌の活用の幅が広がっております。主力雑誌「旅色」では、今期、媒体力を高めることで広告売上の増加を目指しております。その施策として、昨年12月に国内・海外の旅行・観光情報を発信するWEBメディアを運営する㈱Dugong（現㈱CrowdLab（クラウドラボ））を子会社化したことに加えて、本年3月には1,400名以上を動員した「旅色」の無料イベントを開催し、5月には当社初の書籍「旅色」も出版いたしました。今後もさまざまな施策による、媒体力の強化と広告収益の最大化を図ってまいります。

ソリューションにおきましては、「ECサポートサービス」が引き続き堅調に推移しているほか、WEBサイト制作業務も増加いたしました。今期は、無料グローバルECプラットフォーム「cafe24（カフェ24）」を運営するCAFE24 JAPAN㈱、成果報酬型EC支援サービスと中国やタイなどへの越境EC支援サービスを展開している㈱ピアラと連携し、当社ECサポートサービスの新規クライアントの増加を図っております。また、当社既存クライアントが販売する商品・サービスの海外販売の支援も強化してまいります。今後もパートナー企業との連携により、国内EC市場の活性化だけでなく、台湾の当社連結子会社 Brangista Taiwan Inc.を活用したアジア圏のEC運営事業者の国内外のマーケット拡大に寄与してまいります。今期におきましては、2019年1月から株主還元等を目的とした自己株式取得の実施とともに、電子雑誌・ソリューションの業容をより一層拡大させ、企業価値の向上に努めてまいります。



株式会社ブランジスタ
代表取締役社長
岩本 恵了

電子雑誌・ソリューションへリソースを集中し、好調に推移

地方自治体とのタイアップが増えていることなどを背景に、電子雑誌の広告掲載売上が増加。

また、ソリューションの主力サービスのECサポートサービスに加えてWEBサイト制作業務も増加し、好調に推移いたしました。

新たに月間1,300万PV、560万セッションのWEBメディアを 子会社化し、主力電子雑誌「旅色」媒体力を強化

国内・海外の旅行・観光情報を発信しているWEBメディアを運営する(株)Dugong（現(株)CrowdLab（クラウドラボ））を子会社に迎え、創刊12年目の主力電子雑誌「旅色」における広告収益の最大化と媒体力強化を図っています。

株主還元等を目的とした自己株式の取得を実施

2019年1月15日～9月30日の期間で、4億円・50万株を上限とした自己株式取得を実施しております。

株主還元を図るとともに、資本効率の向上とさまざまな変化に対応し、機動的な資本政策が実行できる環境を整えてまいります。

主な業績推移

	2018年9月期 2Q（連結）	2019年9月期 2Q（連結）	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2019年9月期 通期予想（連結）
売上高	1,632	1,683	+51	3.1%	3,500
営業利益	△ 332	243	+576	-	350
経常利益	△ 332	249	+581	-	350
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 395	657	+1,052	-	530

（単位：百万円）

地方自治体とのタイアップが増加

地方自治体とのタイアップが順調に増加しており、上半期新たに8自治体とのタイアップを実施。下半期も6自治体とのタイアップを予定しております。国内の観光客向けPRだけでなく、台湾からの訪日観光客向けPR、ふるさと納税や移住・定住へと活用の幅が広がっています。



鹿児島県 霧島市



長崎県 長崎市



和歌山県・湯浅町



「旅色」-淡路島[兵庫県]-

台湾からの訪日観光客向け自治体プロモーションとして、日本語版と繁体字版を制作。電子雑誌のデータから紙の冊子も印刷し、リアルロケーションでのPRにも活用されています。



日本語版



繁体字版



「旅色フェスタ2019」開催 & 当社初の書籍を出版

1日限りのスペシャルイベントを渋谷・ヒカリエで開催し、1,400名以上を動員。既存読者の満足度向上と、集客力のある商業施設での開催による認知度の向上を図りました。さらに、認知度の向上と電子雑誌「旅色」への誘導を目的に、当社初となる紙の書籍を5月に出版し、媒体力強化に努めております。

「旅色」初の紙の書籍も出版

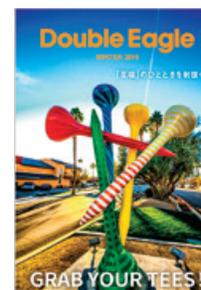


旅色フェスタ2019



紙雑誌「Double Eagle」が 電子雑誌になってリニューアル創刊

「ALBA TROSS-VIEW」や週刊ゴルフ専門誌「パーゴルフ」など、人気ゴルフ雑誌を多数手がけるグローバルゴルフメディアグループ(株)が出版していた紙雑誌「Double Eagle」を、当社の電子雑誌制作・発行ノウハウを活用し、電子雑誌化して発行いたしました。これまでにない発行スキームが実現し、当社初の「スポーツ」ジャンルの電子雑誌を新たにラインナップに追加いたしました。



ECサポートサービスを中心に、引き続き好調に推移 国内外での当社取扱高の拡大へ

グローバルにEC事業を展開しているCAFE24 JAPAN(株)や(株)ピアラなど、パートナー企業との連携による、国内外でのECサポートサービスの提供社数・WEBサイト制作・運営業務の受託社数を増加させ、当社取扱高の拡大を目指しています。

ソリューションの特長

ECサイト運営に必要な業務をワンストップで提供

専任担当者による人を介したサポート体制による、ECサポートサービスをワンストップで提供
在庫一元管理システム「まとまるEC店長」、物流・出荷代行サービス「ブランジスタ物流」なども提供しています。

年間契約・定額制のECサポートサービス

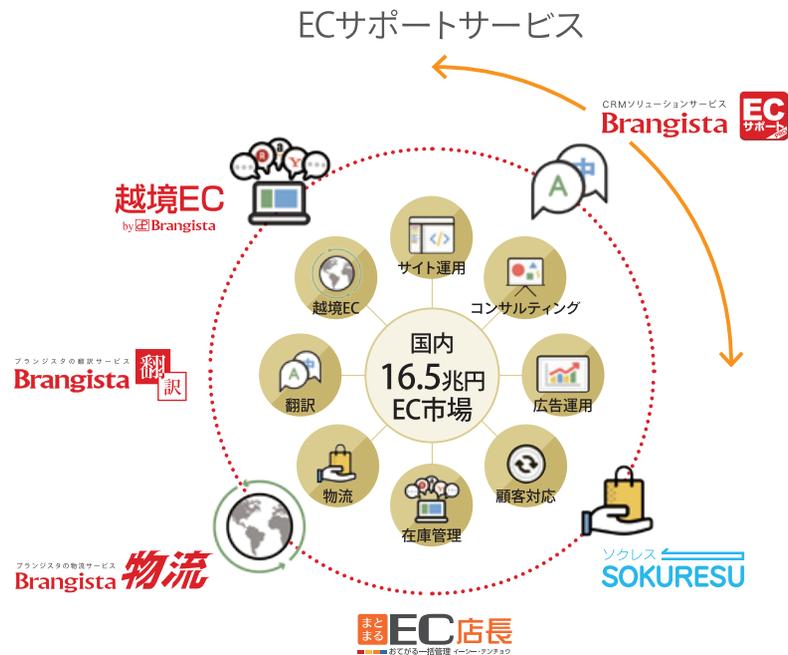
年間で業務を受託し、高い継続率を維持しているだけでなく、1社あたりの受託料も増加。

16年以上の豊富な企業の販促支援実績

2003年より企業の販促支援を目的としたソリューション業務をさまざまな業種の企業へ提供してきた実績を活用し、クライアントの売上・利益の拡大に貢献。

Brangista Taiwan Inc.の取扱高が増加中

現地企業からの制作受託業務が増加傾向にあり、さらに当社の業務を受託するオフショア制作としても稼働し、利益率の向上にも貢献しています。



博設技股份有限公司
(Brangista Taiwan Inc.)

Financial Result

第19期 第2四半期 連結決算の概要

当第2四半期連結累計期間におきましては、電子雑誌業務において、2018年9月期より強化してきた地方自治体とのタイアップ誌が好調に推移し、当第2四半期連結累計期間において新たに5誌を発行いたしました。今後も、地方自治体や企業からの制作受託による新雑誌の発行増加に努めてまいります。創刊12年目となる当社主力雑誌「旅色」においては、既存読者の「旅色」への帰属意識を高めるとともに「旅色」の認知度を向上させるため2019年3月にリアルイベントを開催し、媒体力の強化に努めてきました。また、2018年12月に子会社化した(株)Dugong (現(株)CrowdLab (クラウドラボ)) では国内・海外の旅行・観光情報を発信するWEBメディアの運営で「旅色」との相乗効果を図っております。

ソリューション業務では、スマートフォンアプリの開発・構築を含めたWEBサイト制作業務の売上が増加し、ECサポートサービスとともに好調に推移いたしました。また、無料グローバルECプラットフォーム「cafe24 (カフェ24)」を運営するCAFE24 JAPAN(株)と連携し、当社ECサポートサービスの新規クライアントの増加を図るとともに、既存クライアントが販売する商品・サービスの海外販売支援を強化しております。

また、税効果会計による会計処理の影響により法人税等調整額が減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益が増加しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高1,683百万円(前年同四半期比3.1%増)、営業利益243百万円(前年同四半期は営業損失332百万円)、経常利益249百万円(前年同四半期は経常損失332百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益657百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失395百万円)となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第18期第2四半期 連結累計期間 2017年10月1日から 2018年3月31日まで	第19期第2四半期 連結累計期間 2018年10月1日から 2019年3月31日まで
売上高	1,632	1,683
売上原価	628	482
売上総利益	1,003	1,200
販売費及び一般管理費	1,336	957
営業利益又は営業損失(△)	△332	243
営業外収益	0	5
営業外費用	0	0
経常利益又は経常損失(△)	△332	249
特別利益	-	0
特別損失	0	0
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△332	249
法人税、住民税及び事業税	56	92
法人税等調整額	5	△500
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△395	657
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△395	657

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第18期第2四半期 連結累計期間 2017年10月1日から 2018年3月31日まで	第19期第2四半期 連結累計期間 2018年10月1日から 2019年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△357	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19	△517
財務活動によるキャッシュ・フロー	147	△41
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△229	△557
現金及び現金同等物の期首残高	1,476	1,364
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	30	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,277	806

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第18期 連結会計年度 2018年9月30日	第19期第2四半期 連結会計期間 2019年3月31日
(資産の部)		
流動資産	2,938	2,465
固定資産	203	1,343
有形固定資産	13	20
無形固定資産	34	524
投資その他の資産	154	797
資産合計	3,142	3,808
(負債の部)		
流動負債	682	591
負債合計	682	591
(純資産の部)		
株主資本	2,458	3,216
資本金	604	621
資本剰余金	885	1,044
利益剰余金	968	1,626
自己株式	△0	△75
その他の包括利益累計額	△0	△0
為替換算調整勘定	△0	△0
新株予約権	0	0
純資産合計	2,459	3,216
負債・純資産合計	3,142	3,808

■会社概要 (2019年3月31日現在)

会社名	株式会社ブランジスタ
本社所在地	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-4 ネクシィーズスクエアビル
代表者	岩本 恵了
設立	2000年11月30日
資本金	1,735百万円 (資本準備金含む)
事業内容	電子雑誌、ソリューション
連結子会社	博設技股份有限公司 (Brangista Taiwan Inc.) 株式会社 CrowdLab

■役員

代表取締役社長	岩本 恵了
取締役	石原 卓
取締役	井上 秀嗣
取締役	木村 泰宗
社外取締役	見城 徹
社外取締役	本間 憲
取締役	近藤 太香巳
取締役	西原 勝熙
社外取締役	岩尾 貴幸
社外取締役	杉本 佳英
常勤監査役	平田 浩
社外監査役	久保田 記祥
社外監査役	中路 武志

■株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式総数	14,575,300株
株主数	7,630名

■大株主

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
株式会社ネクシィーズグループ	6,795,280	46.89
楽天株式会社	1,392,400	9.61
株式会社幻冬舎	153,600	1.06

■株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。



証券コード
6176



株式会社ブランジスタ

TEL: 03-6415-1183 (代表)

e-mail: info@brangista.com